

一 般 質 問 通 告 一 覧 表

令和5年第2回（6月）

No.1

質問者	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者
永瀆 一則	1. 農業分野における総合的なシステムについて	① 今年3月議会において私の質問に対し、農業分野における総合的なシステムの構築について、「関係機関によるプロジェクトチームを立ち上げる方向で調整している」との答弁であったが、現在プロジェクトチームは立ち上がっているのか。  ② 立ち上がっているとすれば、どのような構成メンバーか。また、話し合いの進捗状況は。	町 長
	2. 肥料高騰対策について	① 持続可能な農業をめざすためにも安価な堆肥の供給ができるようなシステムの構築をスピード感をもって対応すべきと思うが見解を求める。	町長
	3. 人材確保対策について	① 私は、町内企業15社ほど聞き取り調査を行いました。ほとんどの企業が公募しているが応募がほとんどない。人手が少なく、現役職員の負担が増大している。町としてこの状況をどう捉えているか。	町長
	4. 自衛隊馬毛島基地（仮称）関連について	① 現在、ゴミ・治安等の問題が起きている。これから先も、今以上に住民からの苦情や問題点があると思う。これらに対応すべく、県、関連市町で連絡協議会なるものを設置する必要があると思うが、町長の見解を伺う。	町長
池山 朝生	1. 新聞に今後の町政方針として「農家の意識改革促す」とあるが。	① 「意識改革促す」とは、どのように解釈したらいいのか。なぜ意識改革が必要なのか。	町 長
	2. 硬プラハウス解体・移設工事工事請負費について	① 補正予算を計上してまで行われた事業である。経緯と工事概要を示せ。  ② 工事が一社見積もりだけで業者決定となっている。理由を示せ。  ③ 移設先の確定もしていない状況で今回も補正を計上している。健全な財政運営といえるか。	町 長
	3. 馬毛島工事関係者の町民生活に及ぼす影響について	① ゴミ、し尿、浄化槽汚泥、水（水道水）、治安等このような問題にどのように対策を講じていくのか具体的に示せ。  ② 町民の安心・安全な暮らしを守るためには専門部署を設け対応すべきと考えるが設置する考えは。	町 長
	4. 再編交付金について	① 今回の補正で給食費の無償化となったが、来年度以降も継続する考えはないか。	町 長

一 般 質 問 通 告 一 覧 表

令和5年第2回（6月）

No.2

質問者	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者
秋田 澄徳	1. さとうきびの生産体制整備について	<p>① さとうきびは、種子島の地域経済・雇用を支える重要な作物であり、また、食料安全保障の観点からも生産者・工場等が将来にわたり持続可能となりうる生産体制の構築が必要であると考えているが、直近の課題整理と、国の施策以外の持続性ある生産体制整備についてどのように考えているか。</p> <p>② さとうきび生産ほ場の輸送条件不利地では、ハーベスタ刈取り作業にかかる「中出し料金」が発生している。昨今の情勢により、きび生産農家にとっては多重の経営圧迫等が発生していることから「さとうきび生産対策協議会」による「中出し作業料金」の農家負担無償化対策を講じる考えはないか。</p>	町 長
	2. 再編交付金の活用について	<p>① 再編交付金の有効活用について基本的な考え方を問う。</p> <p>② 再編交付金を上水道事業に適用し、その恩恵が本町全世帯に享受されるための手段として、再編交付金交付終了までの期間において上水道の基本料金を免除する考えはないか。</p>	町 長
	3. 「硬プラハウス移転改築工事」について	<p>① 昨年度、無償とは言え、かなり経年している当資材を高額の解体費用を投じて民間事業者から譲渡を受けたハウス資材での再建計画について、下記のとおり伺う。</p> <p>ア) 資材の譲渡について、どのようなルートで知り得て譲受に至ったのか。</p> <p>イ) 工事設計と発注方法は。また、工事費は現計の費用で足りるのか。</p> <p>ウ) 完成後のハウスは何用に供されるのか。また、管理運用主体はどうなるのか。</p> <p>エ) その目的を達成できる可能性はあるのか。その他の活用として、バイオマス事業等にも転用できる可能性もあると思われるがどのように考えるか。</p>	町 長

一 般 質 問 通 告 一 覧 表

令和5年第2回（6月）

No.3

質問者	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者
戸田 和代	1. 農業施策の振興について	<p>① 施政方針において、「農林水産業に従事するみなさんが意欲を保ち、誇りを持って取り組める農林水産業と活力ある豊かな農山漁村づくりを進めるため、関係機関、団体一体となって農林水産業の振興に努める。」とあるが、その具体的な考えは。</p> <p>② 農業従事者の減少や高齢化による担い手不足により離農する者が増加している。 離農の一つとして、肥料、飼料、燃料、その他資材等の高騰も原因と考えるが、これら高騰する農業経費等に対する対策が必要と考えるが。町長の考えは。</p> <p>③ ア) 農林水産の事業等については、再編交付金の活用は難しいと聞く。高齢農家の多数を占める小規模農家については、体力的に新たな事業等を展開することはできない。これらの小規模農家に対して、営農するにあたり何らかの支援ができないか。町長の考えを問う。 イ) 農業に対して、再編交付金が活用できなければ町単独、起債等を活用して支援（事業）ができないか。 本町の農業施策は、ここ1～2年が重要な年と考えるので、早急な対策をとるべきでは。</p>	町 長
池山 喜一郎	1. 施政方針について	<p>① 「堆肥の安価な供給に向け調査研究を進める」としてありますが、どのような調査研究を行うのか問う。 また、肥料の価格高騰分に対する一部助成ができないのか問う。</p> <p>② 肉用牛は、「耕種部門との連携を基本に」が「耕種部門との複合経営を基本に」に変更された意図について問う。</p> <p>③ 六次産業化の推進について、施政方針から削除された要因について問う。</p> <p>④ 田渕川町政3期目を迎え、この4年間でやり遂げたい重点施策について問う。</p>	町 長
	2. さとうきびの集荷について	<p>① 原料さとうきびの運搬について ・精脱施設に投入する原料さとうきび集荷について、年々運送業者が撤退している。今後、基幹作物の振興に大きな不安となることからこの要因と対策について問う。</p> <p>② 無精脱さとうきび試験集荷（製糖原料）の結果と今後の方向性について ・無精脱さとうきびを製糖原料として2ヶ年試験集荷を実施しているが、その結果と今後の方向性について問う。</p>	町 長

一 般 質 問 通 告 一 覧 表

令和5年第2回（6月）

No.4

質問者	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者
大町田 勇希	1. 自治体DXについて	① 自治体DXを推進していく中で、この自治体DXを取り入れることにより、中種子町が将来的にどのように変化するか説明を求める。  ② 自治体DXに向けた現在までの中種子町の取り組み状況について説明を求める。	町 長
	2. 情報発信について	① 中種子町の観光・交流人口拡大のためにどのような媒体を用いて情報発信を進めていくのか説明を求める。  ② 情報発信のツールとして、新たにLINEの活用が行われているが、今後、どのような内容の情報発信を行っていくのか、また、利用者をどのように増やしていくのか説明を求める。	町 長
梶原 哲朗	1. 高速船の始発便増便要請について	① コロナ感染症が5類に引き下げられ人の動きがコロナ以前に復調しつつあるが、種子屋久高速船では現在、始発便は曜日運行となっている。島民の利便性経済性を考慮し三市町の総意として増便要請をするべきではないか伺う。	町 長
	2. 職員のスキルアップ教育プログラム等について	町の紹介資料に「職員は町民の課題に気づき可能性を見つけ手助けする仕事」又「公務員は住民の生活をより良くするために働く職業であり、町、人の役に立ちたいと思いながら仕事をしています」とある。 このように常に町民を向いて感受性に富み、明るい挨拶が出来て、アイデア企画提案が出来る環境で能力を発揮できる町職員でありたいものである。 そこで、職員の資質向上を図るべく職員教育計画について、下記の項目に沿って伺う。  ① 現在の基本的な研修プログラムの概要について  ② 県庁や民間会社、自衛隊等へ体験外向研修について  ③ 最近の採用試験受験状況について  ④ 魅力ある職場、やりがいのある職場醸成について	町 長